

第58回 府中市商工まつり



8月3日(金)～5日(日)大國魂神社境内で恒例の商工まつりが開催されました。今年は、猛暑にもかかわらず大勢の人が来場されました。当センターのブースでは、小学3年生までを対象としたミニバスケットボールゲームが好評で、3日間で、855名の参加者がありました。ゲームは、1人3回のシュートで、景品として色々なフィギュアの消しゴムが用意され、子供たちは選ぶのを楽しんでいました。

3日(金)・・・キャラクターショーや、ミス府中コンテストが行われ、ミス、準ミス、ミスさわやかさん等が選ばれました。
4日(土)・・・ダンスショー、ハワイアンフラ等が行われました。
5日(日)・・・よさこい鳴子踊り、サンバカーニバル等で大いに盛り上がりました。

3日間を通じて、当ブースの来

場者にシルバー人材センターのチラシ(1,200枚)、ミニうちわ(1,200枚)、ポケットティッシュ(1,200個)を配布しました。また、クーポン券引き換えの熱中症計、緊急傷テープも好評でした。入会、仕事等の相談件数は、15件でした。
今回も、小物班の商品の売り上げも好調でした。



第25回安全推進大会

7月19日(木)の午後2時から第25回安全推進大会が、ふれあい会館3階の会議室で開催されました。今回は熱中症予防講座を目的として『熱中症セミナー』と題し、大塚製薬(株)の阿部章則様が講義をされました。

今年の夏は、日中の高温が危険な暑さと発表され、この時間帯には外出を控える様にと、呼び掛けられる日が続いておりました。このような状況の中で、タイミングの良い講座でしたので、申込者の集まりが大変良かったです。

以前は日射病などと呼ばれておりましたが、最近は若干範囲が広めですが、熱中症と言っ呼び方に統一されております。

運動や直射日光の影響だけでなく、周囲の気温の上昇で、体温が上昇しかけた時に、通常は発汗作用により、体温の上昇が調節されます。しかし、熱中症とはこの調節作用が不十分で、体温が上昇してしまう状態です。

対策としては、こまめに水分を補給することが必要となります。この時は、単なる水ではなく、汗として発散される成分に近い、塩分を含んだ水が有効となります。

特に、高齢者の場合に室内等でも、周囲の気温の上昇に、体温調節が追い付かない場合に発生しやすいようです。このため、経口補水

液の常備と適度な水分補給を心掛けることが重要です。さらに、熱中症の症状が重症の場合には、緊急搬送等の要請を素早く実行することも大切です。
最後に、講師の阿部様への質問の時間では、シルバーの屋外の仕事に従事されている方などから、応急的効果的な飲み物の作り方や、効果的な休憩の取り方など身近な質問が出て、大変役に立つセミナーでした。

